

このマニュアルは、一般社団法人日本ゴールボール協会が主催する公式競技大会において、新型コロナウイルス感染症の予防を目的に、日本スポーツ協会が定める「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に則り、ゴールボール競技の特性に合わせて定めたものです。

【大会前】

1. 全ての入場者を把握する為、「来場者情報用紙」を作成する。
 - ※ 「来場者情報用紙」は下記の区分毎に作成し、大会終了後1ヶ月間保管する。
 - ① チーム関係者（選手、コーチ、ベンチに入らない引率者等）。
 - ② 大会関係者（運営スタッフ、審判員、救護スタッフ、ボランティアスタッフ等）。
 - ③ 来賓（共催・後援団体、パートナー企業関係者等）。
 - ④ メディア関係者（プレス、メディアスタッフ等）。
2. 全ての入場予定者に下記の確認事項を通知し、該当する場合は来場禁止とする。

「利用前2週間における発熱等の確認事項」

 - ① 平熱を超える発熱。
 - ② 咳、のどの痛みなど風邪の症状。
 - ③ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）。
 - ④ 嗅覚や味覚の異常。
 - ⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等。
 - ⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合。
 - ⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ⑧ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
 - ※ これにより選手・コーチが来場出来ない場合でも、参加費等の返金を行わない。
 - ※ これによりチームとしての出場が不可となった場合は棄権とする。
 - ※ 大会当日に確認事項への該当が判明した場合は入場禁止とする。
3. 入場者に感染疑いや感染者が出た場合に備え、大会開催地域の保健所への相談ならびに対応方法の助言を求める。

【大会当日入場時】

1. 「来場者情報用紙」を元に1人ずつ下記の確認を行い、「来場者証」を配布する。
 - ※ 入場時は1列に並びソーシャルディスタンス（2m目安、最小1m）を確保すること。
 - ① 氏名の確認。
 - ② 検温の実施。

③ 利用前2週間における発熱等の確認事項の確認。

※ 検温結果が37.5度以上の場合は入場禁止とする。

※ 大会期間中は毎日上記の確認を実施し、その日毎に「来場者証」を配布する。

※ 「来場者証」は大会期間中常時着用することとし、着用が無い場合は入場不可とする。

2. アルコールによる手指消毒の実施。

※ 入場時は毎回アルコール消毒を行うこと。

【大会期間中の注意事項】

1. 入場者全員がマスクを持参し、常時着用する（マウスシールドは不可）。

2. 常に喚起を行い、ソーシャルディスタンスを確保する。

3. 手洗い、アルコールによる手指消毒の徹底。

4. 試合観戦は指定された場所のみとし、ソーシャルディスタンスを確保した上で、大きな声を出さないこと（観覧席は定員の50%に削減する）。

5. 食事中は会話を控え、ソーシャルディスタンスを確保する。

6. 着替えは密にならないように留意し、必ずマスク着用の上、離れて少人数で行うこと。

7. ゴミは必ず持ち帰ること。

8. 会場への移動中や宿舎内でもマスクを着用し、感染防止対策を徹底すること。

9. 体育館が定めるガイドラインを遵守すること。

10. 大会期間中に体調不良となった場合は、必ず大会本部に連絡すること。

11. 大会終了後に体調不良となった場合は、必ず日本ゴールボール協会に連絡すること。

※ 日本ゴールボール協会事務局：info_japangoalball@jgba.or.jp

【試合中】

1. 試合に関わる全ての関係者は、試合前後にアルコールによる手指消毒を行うこと。

※ オフィシャルテーブルとベンチエリアにアルコール消毒を設置する。

2. チームとして

試合前のウォーミングアップ中はマスクを着用すること。

円陣を組む場合は、体への接触を避け大きな声を出さないこと。

3. コート内の選手

コート内でのマスクの着用は任意とする。

※ コートの外では必ずマスクを着用すること。

※ アイパッチ装着時はマスクを外してもよいが、出来るだけ声を出さないこと。

4. ベンチエリアのコーチ・控え選手

全員マスクを着用。

※ アイパッチ装着時はマスクを外してもよいが、出来るだけ声を出さないこと。

5. 審判員（レフェリー・オフィシャルスタッフ）

① レフェリー

マスクの代わりにフェイスシールドを装着し、ゴム手袋を着用。

ホイッスルは、手で操作する電子ホイッスルを使用。

※ 電子ホイッスルは同じ音色とする。

② テンセカンドタイマー

マスクを着用。

③ ゴールジャッジ

マスクとゴム手袋を着用。

④ スコアラー

マスクを着用。

⑤ タイマー

マスクを着用。

⑥ アイパッチャー

マスクとフェイスシールドを装着し、ゴム手袋を着用。

6. 運営スタッフ

全員マスクを着用。

7. 競技備品類の消毒・交換

① ボールは、ハーフ終了後にアルコール消毒を実施。

② コートは、試合終了後にオリエンテーションエリアのアルコール消毒を実施。

③ ゴールは、試合終了後にポストとクロスバーのアルコール消毒を実施。

④ レフェリーは、アイシェードチェックの前後にアルコール消毒を実施。

⑤ レフェリー・ゴールジャッジ・アイパッチャーは、1試合毎にゴム手袋を交換。

【大会終了後（毎日）】

1. コート全体のアルコール消毒を実施。

2. 体育館から借用した備品（机・椅子・競技器具等）のアルコール消毒を実施。

3. 持参した備品のアルコール消毒を実施。

【入場者に感染が疑われた場合】

1. 大会期間中の場合は、その個人と濃厚接触者の参加を取り止め、体育館管理者に速やかに報告すると共に、その後2週間の経過確認と保健所および相談窓口との連絡調整を行う。

2. 大会終了後の場合は、その個人と濃厚接触者を特定し、体育館管理者に速やかに報告すると共に、その後2週間の経過確認と保健所および相談窓口との連絡調整を行う。

【入場者が新型コロナウイルスを発症した場合】

大会終了後2週間以内に入場者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、その濃厚接触者を特定すると共に、下記への報告を行う。

① 濃厚接触者に該当する方全員。

② 体育館管理者。

③ 保健所。

【備考】

感染予防に関する下記備品については、主催者側で準備する。

検温器具、アルコール、ペーパータオル、フェイスシールド、使い捨てゴム手袋、予備マスク。